



# 地域支援センターだより

地域支援センターやわた

## 今年度第1回目の「スキルアップ研修会」を実施しました

7月19日（金）、和歌山大学教育学部 教授 米澤好史氏をお招きして「愛着障害・発達障害児生の理解と支援」という演題で御講演いただきました。保・幼、小、中、高等学校、特別支援学校の先生方、その他関係機関の職員の方、そして本校教職員を含めて140名以上の方々に参加いただきました。



講義では、愛着障害は誰にでも起こりうること、親のせいではなく関係性の障害であること、愛着はいつでも取り戻せること、誰にでも形成・修復は可能であることなど、愛着障害の正しい理解について教えていただきました。そして、愛着障害・愛着の問題発見ポイントについて発達障害との違いと併せて具体例を交えてお話しいただき、支援者が正しいアセスメント・見極め・子ども理解をすることによって支援が効果を持つ、ということ学びました。愛着障害と発達障害の違いを認識し、子どもたちを見る視点や、支援のあり方について学びを深める機会となりました。

### ご参加いただいた方からの感想（一部抜粋）

- ・愛着障害についてなんとなく知っていること、間違った理解も含めて、専門的な内容をわかりやすく学ぶことができました。（保育園・幼稚園）
- ・愛着障害は、親との関係だけでなく、子どもに関わることの多い先生との関係も大事だとわかってよかったです。（その他）
- ・行動から「発達障害かも？」と考えていましたが、愛着の関係もあるかもと感じた子どもがいます。いろいろな視点から見るのが大切だと思いました。（小学校）
- ・「あの時のあの行動は」と、一人一人の子どもの行動と気持ちを考え、安全安心をいかに作っていくか、しっかり考えて丁寧に支援していきたい。（保育園・幼稚園）
- ・保護者へのアドバイスの内容や子どもへのアプローチの方法を変えていきたいと思いました。（行政）

次回第2回スキルアップ研修会は、京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻で教鞭をとられています加藤寿宏氏をお招きして「学習に必要な基盤づくり（仮）」というタイトルで御講演いただく予定になっております。奮って御参加ください。